

2. 調査の方法（日本）

日本における求職者調査としての失業者調査は、首都圏失業者を対象に企画され、公共職業安定所（ハローワーク）一以下、「職安」と略称一に求職のために来訪する人々を対象とする職安求職者調査として実施した。

調査期間

2001年8月1日～31日（土曜、休日を除く）

調査対象

東京、千葉、埼玉、神奈川4県の指定された公共職業安定所を訪れた求職者
調査協力職業安定所と実査日数

東京 飯田橋、町田、渋谷、八王子、墨田、大森、木場、五反田職安
（各職安に対して1日を割当て）

千葉 千葉職安（4日間）

埼玉 川口職安（5日間）

神奈川 横浜職安（7日間）

調査票設計

フランスで実施されたTDE調査は、次頁の「TDE調査票の構造」にも示されているように、極めて包括的な内容を持つ調査である。日本での調査を実施するに当たり、他計式で設計されたフランス調査票を自計アンケート方式で実行するために、選択肢法への変更、質問数の削減や簡素化を試みるとともに、日本向けに内容の修正、追加を行った。

調査票の配布と回収

職業安定所庁舎内（一部、雇用保険求職者給付認定説明会会場内）において「求職」来訪者に協力を依頼し、調査票を返信用封筒とともに手渡し配布。回収は、回答者による郵送（一部はその場で記入、回収）。

配布・回収状況

| 調査地点 | 配布数 | 回収数 | 回収率 |
|------|------|------|------|
| 東京 | 1568 | 366 | 23.3 |
| 千葉 | 1771 | 797 | 45.0 |
| 埼玉 | 1295 | 344 | 26.6 |
| 神奈川 | 1588 | 178 | 11.2 |
| 合計 | 6222 | 1685 | 27.1 |

調査メンバー

松丸和夫、大須真治、坂田幸繁、小沢薫（以上中央大学）、三富紀敬（静岡大学）、岩井浩（関西大学）、白井邦彦（釧路公立大学）

TDE 調査票の構造

